



ユツユツ とこどん

大仙市立太田中学校
令和4年10月8日
NO. 77



うららかに たくましく ～耕し 萌えたち みのらせ さきみだる～



ようこそ
太中祭2022へ
わたしたちの
「オンリーワンの煌めき」
をお楽しみください



心の中で感謝するだけなら 本当の感謝ではない
自分の行動の中で感謝を示そう

セルバンテス(スペインの作家)



「さ・わ・や・か」の花が咲きました

子どもたちはもっとやりたいこと、発信したいこと、気持ちを表したいことなどもあったのですが、それもままならない入場制限を伴う令和4年度の「太中祭」を無事開催することができました。

できることとできないことを確認しながら、可能な中で子どもたちの主体性を尊重し（職員はその支援に徹し）ながら迎えた「太中祭」でしたが、生徒会執行部を先頭に、『気付き、考え、実行する』太中生の姿があり、太中祭テーマの実現に向けて準備段階からがんばっている様子や楽しそうに活動している様子が思い出されます。（本当は、公開当日以上に準備活動を保護者の皆様にお目につけたかったのですが、お目につけられなかったことが残念です）

長い間教員を務めておりますが、自分たちの力で、悩み苦しみながらも試行錯誤して成長していく姿を目にできるこの期間を今年もまた過ごすことができました。教師冥利の一つ、うれしい限りです。

今年も、コロナ禍の様々な制約を受けた中での活動であり、特別で複雑な感情も湧いています。ただ、

昨年までマスクを付けて歌い、踊っていたことを考えると、マスクを外してできたことを喜ばしく思っています。

最後に、生徒会長の湯野澤果林さんが次のような言葉を述べました。



私たちは、「New Create ～届けようオンリーワンの煌めき～」というテーマの下、日々太中祭の準備を進めてきました。いらしてくださった方々に、感謝の気持ちを伝え、楽しんでいただけるよう、全員で協力しながら太中祭をつくりました。太田中学校は、今年60周年を迎えました。これも地域のみなさんのご協力のおかげです。これからもよろしくお願いたします。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

「心の中で感謝するだけなら本当の感謝ではない
自分の行動の中で感謝を示そう」

スペインの作家セルバンテスの言葉です。子どもたちの太中祭のキーワード“感謝”は、子どもたちの姿で、家族・地域の皆さんに伝わったのでしょうか。

お客様をお見送りした子どもたちの表情は達成感でいっぱいでした。思い出づくりが少ない今年の忘れられない1日になったことでしょう。